平成24年6月27日

各 位

上場会社名　岡野バルブ製造株式会社
代表者　代表取締役社長 岡野　正紀
（コード番号　6492）
問合せ先責任者　取締役総務部長 岡野　武治
（TEL　093-372-9214）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年1月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年11月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成23年12月1日～平成24年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,201	330	395	160	8.95
今回修正予想(B)	4,718	380	480	260	14.66
増減額(B-A)	△483	50	85	100	
増減率(%)	△9.3	15.2	21.5	62.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年11月期第2四半期)	5,182	208	319	90	5.06

平成24年11月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年12月1日～平成24年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,402	595	680	315	17.62
今回修正予想(B)	9,502	400	520	270	15.25
増減額(B-A)	△900	△195	△160	△45	
増減率(%)	△8.7	△32.8	△23.5	△14.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年11月期)	10,195	803	939	384	21.51

平成24年11月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成23年12月1日～平成24年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,200	290	365	140	7.83
今回修正予想(B)	4,717	330	430	230	12.97
増減額(B-A)	△483	40	65	90	
増減率(%)	△9.3	13.8	17.8	64.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年11月期第2四半期)	5,181	153	256	111	6.22

平成24年11月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年12月1日～平成24年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,400	535	620	275	15.38
今回修正予想(B)	9,500	335	450	230	13.00
増減額(B-A)	△900	△200	△170	△45	
増減率(%)	△8.7	△37.4	△27.4	△16.4	
(ご参考)前期実績 (平成23年11月期)	10,193	692	816	360	20.15

修正の理由

本年5月に国内で稼働する原子力発電所がゼロとなり、電力不足とともに原子力発電所再稼働問題は未だ混迷が続いておりますが、主に原子力・火力発電所向けバルブの製造販売およびメンテナンスを展開する当社グループにおきましても非常に厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当第２四半期連結会計期間におきまして、メンテナンス事業では、一部小規模案件の売上で繰延べが生じたものの、柏崎刈羽原子力発電所5号機および6号機の定期検査工事が予定どおり売上計上されたことから、低調であった第１四半期の売上高を概ねカバーできる見込みであります。しかしながら、バルブ事業では、大間原子力発電所向け弁の納期が一部先送りとなったことや円高の影響による海外向けの減収などから、当初予定していた売上高を下回ることが予想されます。

一方、利益面におきましては、収益性の高いメンテナンス工事の施工で原価率が好転したほか、組織のスリム化、諸制度の見直し、固定費の削減、作業効率の向上など震災以降全社的に取り組んできた様々なコスト削減策が功を奏しまして、減収ながら利益面においては平成24年1月11日に公表した第２四半期予想数値を上回る見込みとなりましたので、第２四半期の業績予想を修正するものであります。

通期の業績予想につきましては、国内のバルブ事業では上越火力発電所2号系列2軸、鹿島火力発電所7号系列1、2軸や大間原子力発電所など新設プラント向けの生産・販売が中心となり、概ね期初の計画通りに推移するものと思われます。一方、海外向けについては、引き続く円高の影響で価格競争力が低下しており、受注・販売とも厳しい状況が予想され、売上高は前期を大幅に下回る見込みであります。

また、メンテナンス事業につきましても、除染作業等の復興関連や火力発電所向け案件の確実な受注・施工を通じて売上高確保に努めてまいりますが、当社の収益形成において重要な位置付けとなる原子力定期検査工事が見込めないため、厳しい状況で推移するものと思われます。

利益面におきましても、第２四半期までは予想を上回りましたが、バルブ事業では豊富な鋳込量に繋がる海外向け生産の減少や国内向けバルブ需要の火力発電所案件への移行などから製造原価の上昇が予想されます。メンテナンス事業におきましても、付加価値の高い原子力発電所向け工事案件の減少や工事量の絶対不足による待機コストの増加などから上期までの利益率を大幅に下回るものと見込まれます。

このようなことから、売上、利益ともに期初予想を下回る見込みとなりましたので、通期の業績予想を修正するものであります。

なお、業績予想の修正による配当予想の修正はございません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上